

続報

道の駅おがわまち リニューアル関連議案を可決

楽し
みです

群馬県川場村の「川場田園プラザ」の
ように、近隣の皆さんがあなたがたくさん来てく
れるといいですね！楽しめます。

澤田行雄さん（腰中）



西中学校の改築以来、久々の大型事業として動き出した「道の駅再整備」。“大型”は、予算規模
原案のとおり決着を見たが、賛否が割れた議案もありました。議会目線で事業の進捗を続報

だけでなく、町民からの「期待度」も！以下の関連4議案はいずれも議論百出のもと、
します。

関連議案 3

一般会計補正予算

周辺整備に5000万円増額

要因

駐車場拡張工事…雨水対策のための側溝の整備
交流広場工事…雨水浸透処理施設の設置
管理棟・収納施設…下水道接続に伴う配水管の切り回し
安全対策…シャッターの設置や防犯・防火対策等
資材価格や人件費の増加

財源

埼玉県ふるさと創造貸付金を活用
償還期間は17年を予定（年間約350万円）



要望書の提出へ
関連記事P.14

関連議案 4

賛成13-反対2

工期の延長・工事費の増額

内容

- ①令和7年1月31日→令和7年3月31日まで
※リニューアルオープンは4月中旬の予定
- ②3520万円増額→13億1552万3000円
※新築・改修工事分

理由・背景

- 地中障害により基礎杭の施工方法を変更
想定より岩盤が硬く、基礎杭の貫入ができなかった。
地中障害の撤去・岩盤に対応できる工法への変更。
- 大雨による基礎施工の遅延が発生
局地的短時間豪雨や台風に伴う大雨による排水対応。



地域活性化と 交流拠点に期待

財源の多くに国及び県の補助金等を活用して
いるが、その要件は年度内の事業完了が基本である。工期延長や工事費増額の決定は、それぞれに苦渋の選択を迫られた。

議会として議論を重ね、要望書の提出に至る。
「地域活性化と多くの交流が生まれる拠点」の整備に期待を膨らませ、今後も事業の進捗をしっかりとチェックしていく。

次ページは議案質疑

関連議案 1

手漉き和紙・有機の里 施設の設置及び管理

内容

- ①産業地域振興・休憩施設及び伝統工芸施設、交流広場
- ②主な事業
紙漉き体験、和紙製品の製造・販売・展示、農産物加工品・飲食物・その他物品の販売、観光・道路情報の発信、道路利用者への休憩場所の提供、町民相互及び町民と来訪者の交流。
- ③利用料金（上限の設定）
- ④指定管理者による管理

関連議案 2

指定管理者 TTC・イルグループ

内容

事業計画書に基づいてプロポーザル方式で選定。
契約期間は7年4か月（準備期間4か月も含む）。
委託料は7年間で総額5100万円（光熱水費は含まず）。

企業概要

株式会社TTC 道の駅の運営事業に力を入れ、商品企画力や販促力に強みを持つ。実績は、道の駅「くるくるなると」「なんぶ」「足柄金太郎のふるさと」等。
イル・コーポレーション株式会社 ビルメンテナンス事業を中心に官民連携事業に力を入れている県内企業。実績は東松山市の「農林公園」・鴻巣市にぎわい交流館「にこのす」等。



運営は 民間ノウハウを生かして

従来の「埼玉伝統工芸会館」指定管理料は、年間で約4300万円を要していたが、今後は約2000万円に抑えられる。また、実績に伴って、売上の一部が町に納付される計画である。今回指定管理者となった2社は、管理運営候補者として、施設の設計段階から事業に参画してきた。契約期間は7年間…それが持つ強みを生かした「攻めの運営」に期待している。



「小川町」の名を全国に
知らしめる自信があります。
全国で道の駅を多数
運営している経験を生かし、
SNS等を駆使して、道の
駅おがわまちを盛り上げて
いきます。

河越 雄貴さん
(株式会社TTC取締役)